

里海の再生を目指して

～ 榎野川河口域・干潟自然再生協議会委員募集 ～



本協議会では、①榎野川河口域、干潟及び山口湾の生物多様性の確保、②榎野川流域の多様な主体の参画と産官学民の協働・連携、③科学的知見に基づく順応的取組の3つの視点を基本として、榎野川河口干潟等の『里海』の再生を目指した取組を進めています。

このたび、下記のとおり第11期委員を募集しますので、榎野川河口干潟等の自然再生活動等にご興味のある方は、是非ご応募ください(任期:令和6年4月1日～令和8年3月31日までの2年間)。



協議会会議



カブトガニ生息調査



干潟の耕うん



環境学習活動

- ▶ 応募期間 令和6年3月6日(水)～令和6年3月29日(金) 必着
- ▶ 応募資格 ①榎野川河口干潟等の自然再生活動を実施しようとする個人又は団体
②地域住民、NPO等、自然環境に関し専門的知識を有する者、その他①の者が実施しようとする自然再生活動に参加しようとする個人又は団体
③関係地方公共団体及び関係行政機関
- ▶ 応募方法 住所、氏名(団体・法人名)、連絡先等を応募用紙にご記入の上、封書、FAX又はMailにてご応募ください。
- ▶ 応募先 榎野川河口域・干潟自然再生協議会(山口県環境生活部自然保護課内)
〒753-8501 山口市滝町1-1
TEL:083-933-3060 FAX:083-933-3069 e-Mail:a15600@pref.yamaguchi.lg.jp
- ▶ その他 会議等の開催は、原則として土曜日・日曜日・休日とします。
会議等への出席に係る費用については、委員の自己負担となります。

榎野川河口域・干潟自然再生協議会とは? (平成16年8月設立)

山口盆地や山口市の市街地を流れ山口湾に流入する榎野川。その河口域から山口湾に広がる約344haの広大な干潟は、渡り鳥や野鳥、「生きている化石」カブトガニの生息地であり、「日本の重要湿地500」にも選ばれている全国的にも貴重な地域です。しかし、私たちが取組を開始した当初、浮泥やカキ殻の堆積、漁獲量の減少、生物種数の減少など干潟生態系等の改変・改質が生じ、人々とのかかわりが減るなどして、かつての豊かな干潟とは言えない状態にありました。

このため、自然再生推進法に基づいて設立された本協議会では、人が適度な働きかけを継続することで、干潟等の生物生産機能、生物生息機能、水質浄化機能、親水機能などの様々な恵みを持続的に享受できる場、いわゆる「里海」の再生を目指した取組を進めています。

【構成員】 個人や民間団体等の他、学識者や関係行政機関 60名

【役割等】 自然再生事業の実施計画案の協議や実施に係る連絡調整、その他自然再生活動等の参加

これまで35回の会議を開催し、協議会の枠組み、自然再生の全体的な取組の方向を定める「全体構想」の策定、ワーキンググループによる取組を実施。

【活動例】 委員やワーキンググループにより様々な活動が行われてきました。

干潟の底質改善試験、アマモ場の造成、アサリをはじめとする干潟生物の再生活動(干潟耕うん等)、カブトガニ生息調査、環境学習活動、生物・環境モニタリング、調査研究等活動等の情報は、Facebookページをご覧ください。

